

# ひろば大代

NO.324

大代公民館

H18.7.23

## 第21回 都市と

### ふるさとを結ぶ交流会案内

大代高山会

大代高山会では、お盆に帰省される皆さんをお迎えして、第21回都市とふるさとを結ぶ交流会を今年は**8月13日(日)**に開催致します。

日程は左記の通りです。

日時 8時13日(日) 17時〜

場所 公民館集会室・広場

※雨天の場合 小学校体育館にて

Ⅱイベント内容Ⅱ

17時〜 開会行事

17時30分〜 大代田植囃子公演

18時〜20時 高山神楽団社中公演

※盆踊り大会の前に十分間盆踊り講習

20時〜22時 盆踊り大会

22時〜22時30分 景品引換え

町民の皆様、昨年の記念Tシャツ・又はゆかたを着て交流会にご参加いただきますようお願い申し上げます。



### 男の料理教室

「不思議カレ〜」

弓久 大場清志

【男の料理】そもそも、料理とは一体何ぞや？辞書によれば、「食物を調理すること」とある。では、「調理」とは？辞書を引けば、「料理」だそうだが、ならば、料理とは「食物を料理する事」である。何かわかった様なわからない様な、釈然としない。

そんな事はともかく、今回で参加するのは2回目である。前回は、ロールキャベツを作ったかな。微妙な味わいであった。

今回は、カカレーカまず食材を見てびっくり！（ピーマン）、（パプリカ）、（生のサバ）、前々日位であったろうか、今度の料理教室には「魚を釣って持って行くよ」と冗談話をしたばかり、「サバ」の入ったカレ〜は今まで食べ

た事が無い；興味津々調理に入る。指導者の手ほどきを受けながら、食材を切る、炒める、焼く、煮る、出来た……作ったのは、普通のビーフカレーとサバの入った不思議なカレ〜、皆で試食、どちらも旨い。食材を変えれば全く違った味わいのあるものに成る味の深みを感じる。

さて、食べ物のあふれている現代社会、何でも手に入り好きな物が食べられる。生きる事と食は切っても切れぬいものである。しかし、その中で何が旨くて、何が食べたいのか忘れかけている様な気もする。



十人十色、味覚も違えば、料理の味も違うのだから料理はおもしろい。

味を旨くするのもまずくするのも「塩加減ひとつ」と言われる様に奥は深い。自分の味を求めて今後も参加したい。皆さんも一緒に作ってみませんか。

## 私にも出来たパソコン

上飯谷 原田守男

公民館のパソコン教室についての感想文を依頼されて自分なりの感じたことを思いつくままにパソコンを使って書いてみたいと思います。

今までに公民館活動で、パソコン教室をするとう線放送で、何回か募集がありました。私にはあまり関係がないと思ひ、乗り気ではありませんでした。その頃は、ワープロを少しやっていた。パソコンにはあまり関心がありませんでしたが、ゲートボール仲間から「今からはパソコンの時代だし、ワープロにはない機能が沢山あるからパソコンにしたなら。」と言われている時に公民館に行った時、「3月13・15・16日に又、

パソコン教室をするから参加してみないか？」と、誘われて、参加をして見てやはり難しく、前の画面を見たり、キーボードの操作と初めての私にはついて行かれません。帰って整理をしようにも余りにも、解らなすぎるので、(わかつている人には何でもない操作でも、始めての私にはチンプンカンプン、これで辞めてしまおうかと思ひました。)



でも思い直して職業訓練所に行つて

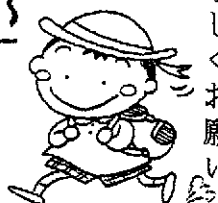
話を聞いてみると、「3月が無料の月になつていたので参加をしてみてもは。」と言われ、わずか4日間ではありましたが講師の先生には解りやすく教えていただき、大変充実した4日間でパソコンがこんなにも面白いとは思わなかつたです。

それから一念発起をしてパソコンを買い、プリンターを買い、デジカメを買い、色々楽しんでいますがまだまだ解らないところが沢山あります。頭の体操にもなります。これからパソコンを使ってやってみたい事が沢山あります。今月パソコン教室に参加し、また新しい機能を教えていただきました。是非、月に1回、2回パソコン教室をお願いしたいと思います。大変とは思いますがよろしくお願ひします。

## 「歩け歩け大会」

石見銀山散策編

本郷 和田 積



あいにくの雨の6月25日、体育協会役員は8時30分に公民館に集まり、本

日の打ち合わせをしておりました。  
「役員以外は誰も来てくれんかもしれんなあ」と会長がボンボン独り言のよ  
うに言う。

「うちの母親が隣のおばさんを引つ張  
って来るから二人は確保しとる」と私  
が寝過ぎてむくんだ顔で「ひびつ」と  
ちよつと自慢気に答える。

「雨だなあ……」「雨だわなあ……」  
しかし、期待？は大きく裏切られたの  
でした。参加者45名。大代町の人口一  
割弱の参加がありました。あな、有難  
たや。

大森町で2名の銀山ガイドさんに案  
内されながら街並みを2時間散策した  
のですが、隣の人の傘のしずくが肩を  
冷たく濡らすのも気にならないほど、  
街並みは落ち着いたレトロな佇まいな  
のでありました。

「世界文化遺産」というと華やいだ観  
光客で賑わうという印象を持つので  
すが、古き日本、昔の隆盛や、銀の町で  
の暮らしに想いを馳せる一時となりま  
した。

近過ぎていつでも行けるけど、行け  
ない町になりがちですが、秋の晴れた

日に行ってみようかなと考えてもみる  
のでした。



そうそう、〇〇屋さんのごま豆腐は  
相変わらず美味しかったのですが、せ  
つかく街並みにお店を出されているの  
ですから、腰を掛けて渋いお茶と一緒  
にゆっくりと周りを眺めながら一服出  
来れば、それはそれで楽しいのね。  
(晴れた日にやつとられるかもしれま  
せんが)と、勝手に観光イメージアッ  
プ戦略までしてしまいました。

来年はどうしましょうか？近くで行  
きたい所は他にはないかしらんと帰路

に着きながら、気も早く考えてみまし  
た。

「30年このかた岩瀧寺滝に行つてな  
いから、ダムに沈む前にもう一度見て  
みん？」と話し掛けたけれど、誰も聞  
いていなかった事がちよつぱり悲しか  
った歩け歩け大会でありました。  
大変ご苦労様でした。

## 「2回目の「よっちゃん菜」」

### 開店記念感謝祭

「ホンモノ巻さしほが欲しい」

高山の里直売所運営組合

横手新治郎



早いもので元気な町づくり事業とし  
てスタートした直売所も、丸2年とな  
りました。今年も、ちまきづくりをし、  
546ケ、91パックを販売し、使用した巻  
きしほ約800枚でした。2年続けて、同  
じ場所から山のめぐみを頂きましたの  
で、来年もあるか心配です。他に良い  
場所があつたら教えてください。

お客さんや協賛者に聞いて見ました。  
現在は大田町に住んでおられる大代

町出身の方

「友達と一緒に墓参りに来たたら車がた  
くさん並んでいたもので、何かと思つ  
て寄って見ました。ちまきを買って帰  
ります。まきしばを採って作りたいと  
思っていたところで丁度良かった。帰  
りにそばを食べます。」

広島から来た温泉客は



「湯治に来たら、脱衣所にそば道場の  
チラシがあつたので足を伸ばしてきま  
した。ここまで遠かったです。ついで  
に珍しいちまきを買って帰ります。」  
携帯電話をかけた町内の方  
「あられが美味しかったので、残りが  
あつたらおいて欲しい」

居合せた出品者いわく「次週も出すか  
ら心配しないで買いに来て！」

同時に開店したそば道場も「そば粉  
18キロ」を手打ちして最高だった。協  
賛された「七転八起の会」の焼鳥も完  
売され、ジュースの残量も数本でほぼ  
完売に近かった。大代に馴染みの「た

こ焼き、たい焼き屋さ  
ん」もほどほどに売れ  
ました。

十七夜祭に露天商が  
無くなってからも何  
年になるか記憶にない  
くらいですが、新たに  
バイパスにマイカーが  
並び、露店がひとつ二  
つと並び出し、新たな  
賑わいが出来ました。

田植ばやしと3年目

となった子供神輿が新たな祭りの行事  
として定着しています。子供達の数は  
少なくなり継続が心配ですが、先日の  
関西高山会での神楽と田植ばやしの共  
演の感動を、次の25周年、30周年に繋  
ぐためにも是非継続が必要です。

消費の変化に対応して地域を売り出

すためには、地域ブランドの形成とい  
う視点が重要です。地域ブランドは先  
ず「ホンモノ」であるかが重要  
です。

ホンモノの食と伝統芸能の継承が、  
大代町の活性化に必要と感じた開店記  
念感謝祭でした。

## ホタルの光に感慨ひとしお

柿田地区



「あ！光った」「飛んだ飛んだ」「ワ  
ーきれい」こんな歓声があがったのは、  
8時を少し過ぎた頃からでした。

蛍祭りや銘打ったイベントなど始め  
てであり、どんなことになるか解らな  
いまま、我が集落の皆さんにお知らせ  
した。小学校5・6年生には、前日の23  
日に、三瓶自然館から専門の講師を迎  
えて学習会が開かれた。

都合がつく人は、父兄と一緒に見  
行ってみたらとお話をしていただいた  
こともあり、7時30分ころには親子連  
れやおばあさん、口伝えで聞いたと来  
られた大人の方もあつた。

少しばかりお話や注意して欲しいこ

となどを伝えた後、川のほとりに向かうとひとつ、またひとつと小さな光が見え始めた。闇が増し、光の数もどんどん多くなってきた。中には、ゆらゆらと手の届く所まで飛んでくるものもある。

興奮気味に喚声を上げるのは大人たち。昨日教わったばかりの子供達は冷静で、雄雌の光り方の違いを話したりしている。9時頃になると絶好調で光の乱舞を楽しむことが出来た。自分から遠ざかる光、向ってくる光、草むらの光を追いかける光など、様々な光が飛び交う風情は、退屈しない夜のショーであった。光を追いかける子供もあり、ついつい「危ないからそこから先は行くな！」と大声で言わずにおれなくなつたときも何度かあった。

歓声のあまり、のどが乾き、ジュースを欲しがると子供も出てきた。竹筒の中のローソクの光も風情があつて良かったと絶賛していただいた。

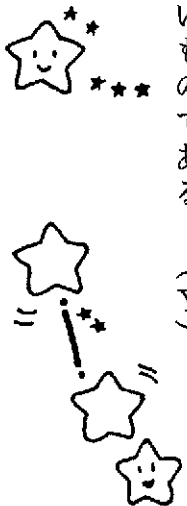
9時30分頃からだんだん光も少なくなり帰途についた。帰り道に、自分の近くの川を注意深く覗くと、いないと思つていた蛍がいた。

来年は、生え放題になつている川の草や木の枝などを刈つて、きれいにしたらもつと増えるだろう、とうれしい話も聞かれ、蛍の里「大代」への弾みが出来たうれしいイベントとなつた。

子供の頃、蛍はもつと身近にいて、何度も見た記憶がある。年を重ね、蛍の明滅の理由を知り、小さな光の中の命の尊さを思い感慨もひとしおだつた。数日後、ある新聞に興味深い話が載つていた。なぞとなつていた蛍が発光する仕組みが最近やつと解明されたと言う。蛍の発光効率はずい。

現在の技術で最も効率の良い発光ダイオードで約30%、蛍光灯20%程度に対し、蛍は実に90%という。高エネルギーの証が、波長の短い独特の黄緑色なのだ。化学の力で自然をねじ伏せようとしてもかなわない。自然の中になぶことは無数にあると。

来年はもつと素晴らしい乱舞が見られるよう、自然にまなび、自然を大切にしたいものである。(Y)



\*\*\*\*\*  
\* 8月行事予定 \*  
\*\*\*\*\*

▼4日(金) 大腸がん検診

▼8日(火) 軽運動「エアロピクス」  
小学校体育館 夜8時から1時間

どなたでも参加できます。

▼13日(日) 第21回都市と

ふるさとを結ぶ交流会

午後5時より公民館広場にて

「神楽公演&盆踊り大会」

皆様の参加をお待ちしております。

▼22日(火) さくらんぼ教室

▼23日(水) 連合自治会



## || 編集後記 ||

雨の様子を気にしながらの編集会議

「ようけえ降らんとええだがなあ」

そんな話をして帰宅したのもつかの間、

豪雨災害となつてしまいました。

災害に見舞われた方々に心よりお見

舞い申し上げます。

さて、もうじき夏休み。子供にとつ

ては楽しい、親にとつても楽しい思い

出深い夏休みになりたいと思つているの

は、私だけでしょうか? (I)